

猛毒のあるヒョウモンダコにご注意ください

島根県農林水産部水産課

このタコは、主に日本からオーストラリアの熱帯・亜熱帯域に生息する小型の美しいタコですが、平成24年6月に松江市沿岸で確認されて以降、県内各地から確認事例が報告されています。

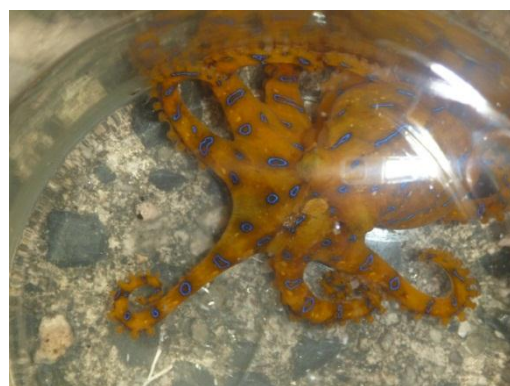
このタコの唾液には神経毒であるテトロドキシンが含まれており、咬まれると神経麻痺、呼吸困難を起こす大変危険な生物です。

もし、見かけた場合には、絶対に素手で触らないようにしてください。

また、下記まで情報提供（見つけた日時、場所等）をお願いします。

◇ヒョウモンダコとは

- ・日本からオーストラリアにかけての西太平洋熱帯域・亜熱帯域に分布し、浅い海の岩礁、サンゴ礁、砂と小石混じりの海底に生息
- ・大きさは10 cm程度の小型のタコで、刺激を受けると青い斑紋が見えることが特徴
- ・唾液には、フグ毒として有名な猛毒のテトロドトキシンが含まれる
- ・国内では2011年に愛媛県で男性が咬まれ入院した事例のほか、海外では死亡事例がある
- ・日本海側は福井県以南、太平洋側は千葉県以南で分布が確認されており、近年その生息域が北上している模様
- ・県内でも、平成24年6月の確認以降、各地から確認事例の報告あり



ヒョウモンダコ（平成24年に松江市沿岸で発見されたもの）

[連絡先]

島根県農林水産部水産課

漁場環境・内水面グループ

TEL 0852-22-5323 FAX0852-22-5929